

# さくらんぼ栽培だより

## 《休眠期防除 編》



### 1. 過去3年間の発芽状況・今年度発芽見込みについて

(山形県農業総合センター園芸農業研究所より)

品種	R5	R6	R7	R8 (予測)	平年
紅さやか	3/22	3/29	3/25	<b>3/22~25</b>	3/26
佐藤錦	3/23	3/29	3/26	<b>3/22~25</b>	3/26
やまがた紅王	3/19	3/19	3/22	<b>3/19~21</b>	3/20
紅秀峰	3/20	3/21	3/22	<b>3/19~21</b>	3/21

※今年の発芽についてはJAの予測です。

(令和2年と同様の消雪時期・気温経過の状況です)。

令和2年発芽【「紅秀峰」：3/13、「佐藤錦」：3/21、「紅さやか」：3/19】

※双子果率は「佐藤錦」：1.4% (R6:1.7%)、「紅秀峰」：5.8% (R6:2.6%)

の状況です(県内普及課調査より)。



発芽：芽の先端が緑の状態

※前年、褐色せん孔病やハダニ類による被害が見られた園地では花芽の数が少ない状況です。

### 2. 休眠期防除について

※園地内のさくらんぼ生育状況に合わせて散布を行いましょう！

散布時期	適用病害虫	薬剤名	濃度	収穫前 使用日数	総使用 回数
発芽直前まで		<b>1.水</b>			
	カイガラムシ類幼虫	<b>2.アプロードフロアブル</b>	1,500倍	7日前まで	2回以内
	カイガラムシ類 (ハダニ類)	<b>3.ハーベストオイル</b>	50倍	発芽前	—

※かかりムラのないよう丁寧にたっぷり防除を実施しましょう！

※石灰硫黄合材剤を散布する場合は本防除の10日以上前に実施する。

※発芽期以降の散布の場合、スプレーオイル100倍(発芽後2週間以内、-)を散布する。

★農薬登録変更について★

農薬名	規格	使用について
ラビキラー乳剤	500ml	<u>使用不可</u> (令和7年(2025年)9月登録失効)
アーデントフロアブル	250ml	令和8年度供給不可【登録は継続】

※落葉後のコスカシバ対策としてラビキラー乳剤に替えて、ガットキラー乳剤100倍(落葉後～萌芽前、1回)を使用する。

裏面に続く

### 3.防霜対策資材のご紹介

資材名及び濃度 (100L 当たり液量)		使用時期
霜ガード	50 倍 (2 kg)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>正午～午後3時</b>までの気温の高い時間帯で散布を行いましょう!!</li> <li>・休眠期防除へ加用しましょう!</li> <li>※-2℃程度の低温への効果が認められます。</li> </ul>
グリーンステム	500 ～ 1,000 倍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発芽期～開花直前までの間に、霜注意報が出た場合、散布を実施しましょう!</li> <li>※残効は約 2 週間</li> </ul>
アイスバリア	333 倍 (300ml)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開花直前、満開期防除へ加用しましょう。</li> <li>・苦土・マグネシウム補給としても効果が期待されます。</li> </ul>

◇花芽が障害を受ける恐れのある温度（1 時間以上遭遇時の場合）◇

品目	発芽期	展葉期	満開期	落花期
おうとう	-3.0℃	-1.6℃	-1.7℃	-1.1℃

◆霜の降りやすい条件◆

★夜 7 時以降 6℃以下の場合★

時期	日にち
大潮	4 月 18～20 日、5 月 1～4 日
満月	5 月 2 日
新月	4 月 17 日

～天気予報をチェックしながら防霜対策を行いましょう!～

カラー版は LINE で確認いただけます。  
登録は QR コードからお願いいたします。



適期防除の実施で病害虫の発生を抑えましょう!  
JA さがえ西村山 営農指導課